

スポーツ医学		講義	教授 柳澤 修	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの専門選択科目, スポーツトレーナーコースの専門選択科目	科目ナンバリング	11322201	

1. 授業のねらい・概要

基本的なスポーツ傷害の発生メカニズムを学習するとともに、スポーツ傷害を予防する方策やスポーツ傷害からの復帰方法などを学ぶ。加えて、子ども特有のスポーツ傷害ならびに女性とスポーツの関係についても学習する。

2. 授業の進め方

パワーポイントを用いた座学の講義が中心となる。

3. 授業計画

1. スポーツ医学総論	10. スポーツ現場での処置
2. 外科系スポーツ傷害の基本的知識	11. メディカルチェック
3. 頭頸部・体幹のスポーツ傷害	12. 子どもの体力・からだの特徴
4. 上肢のスポーツ傷害（肩関節）	13. ジュニア期のスポーツ傷害
5. 上肢のスポーツ傷害（肘関節，前腕，手部）	14. 青少年のスポーツ障害の原因と対策
6. 下肢のスポーツ傷害（股関節，大腿部）	15. 女性とスポーツ
7. 下肢のスポーツ傷害（膝関節，下腿，足部）	
8. スポーツ活動と内科的疾患	
9. 熱中症	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマに関する基本的な用語は事前によく調べておくこと。なお、この事前準備には1時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

事前学習の課題に関しては、授業の冒頭で解説をする。定期試験の際には、出題の意図などを説明する。

6. 授業における学修の到達目標

基本的な人体構造・機能を理解し、スポーツ傷害の起こるメカニズムやそれを防ぐ方法などを科学的に理解できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

期末テストにて評価する（100%）。成績評価にあたっては、授業回数の2/3以上の出席を前提とする。

8. テキスト・参考文献

授業中に適宜配布する。

9. 受講上の留意事項

事前にもしくは併せて人体構造学や運動生理学、バイオメカニクス関連の科目を履修していることが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、国内トップアスリートを対象とした研究機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。